



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2023年5月16日

全国自治体初の独自学習 e ポータルと学習ログ連携による成果創出 経産省「未来の教室」実証事業 最新事例報告 生徒の自律学習、効果的な指導の標準化に向けた情報粒度・加工法を検証

AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）では、経済産業省の 2022 年度「未来の教室」実証事業の事例報告を行いました。

本実証事業では、「学習 e ポータルと日常の学習ログの連携によるユースケースの創出」の実証において、高知県が 2021 年 4 月より運用している全国の自治体初の独自の学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」を通じて、日常的なログの連携とその連携が意味ある利用に繋がるような粒度・加工方法について検証しました。実証事業の詳しい報告内容は、「未来の教室」ウェブサイトに掲載されています。

(<https://www.learning-innovation.go.jp/verify/f0138/>)

事例が極めて少ない、連携したログの効果的なユースケースを検証

GIGA スクール構想で IT 機器の導入が進みましたが、学校では指導者が学習ログの蓄積、連携が日常的に利用できていない状況にあります。また、連携されたログについても、普段使いできる粒度や加工法は不明確です。加えて、指導者が利用しやすい情報にするためのユースケースや、効果的なユースケースの実証事例は極めて少ないのが現状です。

そこで今回の実証事業では、日常的なログの連携とその連携が意味ある利用につながるような情報粒度・加工法について検証することを目的としました。

日々の学習は、当社の ICT 教材「すらら」を活用し、学習ログの収集を行います。定期考査に対応する範囲の学習課題を授業内や宿題で行い、学習者にとっては効果的でわかりやすく、指導者にとっては業務負担が少なく個別最適な指導が可能となります。また、紙による定期考査は、大日本印刷株式会社（DNP）が開発・提供しているサービス「リアテンドラント®」を活用し、指導者の採点負担軽減とログの可視化による指導への反映を行います。

これらのログを高知県教育委員会が独自で開発・運用している学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」を通じて集約。ログの集約方法及び情報粒度によって、どのようなユースケースが生まれるのかを実証しました。

学習ログは「個別最適学習」＋「生徒への寄り添い」に活用

生徒の自律学習、効果的な指導の標準化に向けた情報粒度・加工法を示唆

AI 教材の利用により生徒一人ひとりの得意不得意に合わせた個別最適学習とそれによる学力向上については、既に多くの実証事例があります。すららネットでは、学力向上だけではなく、生徒の学習に対する不安解消や教員とのコミュニケーションによる内発的動機付けの実現までもスコープに入れた学習ログの利活用を目指しています。

今回の実証事業では、学習ログの活用を通じた個別最適な学習による学力向上と、学力向上につながる生徒の自律的な学習の取り組みを促す仕掛け、教員の声がけなどの効果的な指導法の標準化に寄与する、データの活用法が示唆された結果となりました。

■すららネット「学習 e ポータルと日常の学習ログの連携によるユースケースの創出」

<https://www.learning-innovation.go.jp/verify/f0138/>

■「未来の教室」実証事業について

経済産業省は、『未来の教室』ビジョン（2019年6月）を踏まえ、様々な個性の子ども達が、未来を創る当事者（チェンジ・メイカー）になるための学習環境づくりを目指し、1. 学びの探究化・STEAM化、2. 学びの自律化・個別最適化、3. 新しい学習基盤づくりを柱に、2018年度より実証事業に取り組んでいます。

「未来の教室」ってなに？（「未来の教室 ～learning innovation～」）

<https://www.learninginnovation.go.jp/about/>



■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、AIを活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」と「すららドリル」を、国内では約 2,500 校の学校、塾等 35 万人を超える児童生徒に提供しています。全国の公立学校、有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど、日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け、代表的な EdTech スタートアップ企業として 2017 年に東証マザーズ（現東証グロース市場）に上場しました。

<https://surala.jp/>